

【算数・小6・「分数のわり算」】①

育成を目指す資質・能力

- (知識・技能) 分数の除法の意味や、分数の除法についても整数の場合と同じ関係や法則が成り立つことを理解するとともに、分数の除法の計算ができる。
- (思・判・表) 数の意味と表現、除法について成り立つ性質に着目し、分数の除法の計算の仕方を多面的に考えることができる。
- (学びに向かう力等) 計算の仕方を除法の性質や数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、多面的に粘り強く考えたり、今後の生活や学習に活用しようとしたりする態度を身に付ける。

ICT活用のポイント

学習意欲の向上と考えの共有と計算の仕方を多面的に考えることを意識した授業

【めあてを設定する】

分数÷分数の計算はどのようにしたらよいか？

【めあてを追究する】

自分の考えた方法を式と短い言葉を使ってかく。

友達の考えを読み取り、共通点や考えのよさについて話し合う。

【まとめる】

分数÷分数の計算の仕方をまとめ、適用問題に取り組む。

事例の概要

- 分数÷分数の計算の仕方について、わる数が整数であれば計算できることに着目し、逆数をかけたり、わられる数とわる数に同じ数をかけたりする方法で計算し、短い言葉で説明を記入する（タブレットに直接書き込む）。
- 自分の解決方法を学習支援ソフトを通して提出し、全体で共有しながら、共通点や方法のよさについて話し合いながら計算方法をまとめる。

【事例におけるICT活用の場面①】

- タブレットに自分の考えを書き込み学習支援ソフトを通して提出し、友達に説明したり、他の考えを読み取ったりして共有する。

【事例におけるICT活用の場面②】

- タブレットに送付された考え方を比較し、共通点に着目しながら、分数÷分数の計算の仕方のポイントを見いだす。

【算数・小6・「分数のわり算」】②

【事例におけるICT活用の場面①】

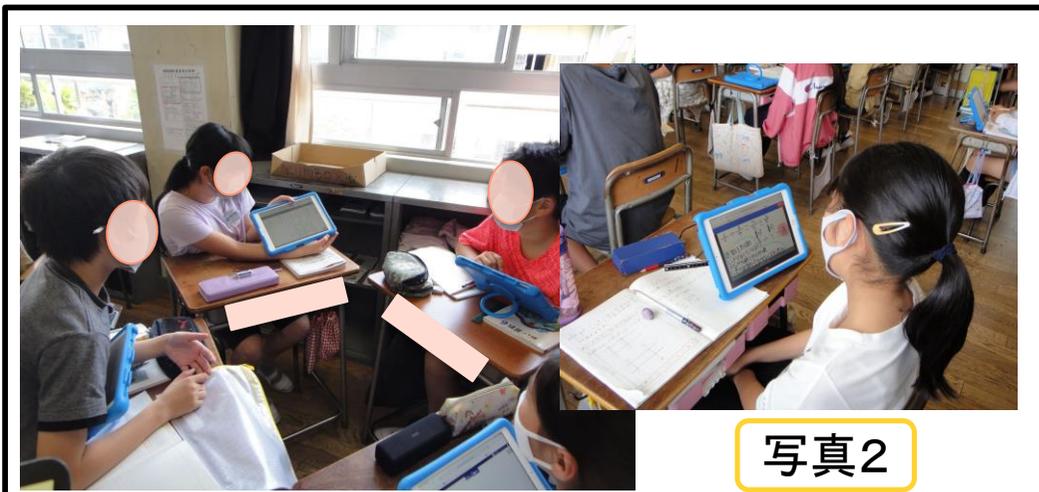


写真1

写真2

考えを共有する場面では、児童が計算の仕方をまとめたシートを学習支援ソフトで画面共有しながら、考えを共有した。

写真1は、自分の考えを画面で提示しながらグループのメンバーに説明している。

写真2は、画面共有された考え方の読み取りをしている。

児童は、自分の手元で、自分と異なる考え方に触れ、新たな気付きを得たり自分の考えを修正したりすることができた。

自分の考えを送るという活動とともに、書き直しが容易にできるという点が追究意欲を高める一つの要素となっていた。また、短時間で、考えの共有が図れ、その後の比較・検討につながる。

【事例におけるICT活用の場面②】



比較・検討の場面では、左右の列で異なる考え方を画面共有し、考え方の共通点を見いださせた。

児童の気付きを教師が黒板に整理し、まとめにつなげることができた。

【活用したソフトや機能】
・学習支援ソフト

2つの画面を使って比較したことで、主体的に話を進める様子が見られた。クラス全体での対話につなげることができ、考えを深めることができる。